

## 県内6つの地域で 秋の平和宣伝活動すすむ!

### 「戦争法廃止」・「沖縄米軍基地撤去」を主張!



秋の平和宣伝活動は、県内6つの地域、◁○県東（鹿行）、○県南1（石岡・土浦地域）、○県南（取手・つくば地域）、○県北（美和緒川・太田・大宮地域）、○県西（結城・下館・下妻地域）、○県央（水戸地域）>に分け、宣伝カーを使った「音の出る宣伝活動」を進めています。

#### 昨年までは、1台の宣伝カーで県内を回ったが...

昨年までは、宣伝カーや道路使用許可を事務局で準備し、石岡を振り出しに北茨城まで1ヶ月間にわたって取り組みました。今回は常任理事会の話し合いで、「もう少しきめ細かく地域に根差した宣伝活動を進めたい」こと「今後につながることを大切にするなら、準備段階から地域でとりくむことで、他団体との連帯を進められる。」などの意見が出され、ブロック単位の取り組みを提起することになりました。新しい取り組みでもあり、6つの地域でグループ会議が開催され、日程や宣伝ルート、運転者などの具体化が詳細に話し合われ、実行に移されました。

#### カラー版チラシ5万枚準備! 横断幕やのぼり旗も用意!



宣伝カーは地域で準備します。必要な横断幕、幟旗(2枚)を事務局が用意、B4版のカラー版チラシは、「沖縄に米軍基地はいらない」「戦争法廃止」の表題で5万枚用意しました。印刷費は1枚2円60銭です。各平和の会・平和委員会で1枚当たり1円の負担をお願いしています。道路使用料は全額事務局負担、ガソリン代は事務局が半額負担します。



#### ▼とりくみの日程

- 県 央：水戸周辺⇒10/20(木)～10/26(水)  
友部・笠間⇒10/27(木)～11/2(水)
- 県 西：下館⇒10/17(月)・10/24(月)  
結城⇒10/22(土)・10/29(土)  
下妻⇒10/23(日)
- 県南1（土浦・石岡周辺）⇒10/17(月)～15日間
- 県南2（取手・つくばみらい）⇒10/25(火)から1週間
- 県 北：ひたちなか⇒10/16(日)～15日間
- 県東（鹿行）⇒神栖・潮来・行方⇒10/16(日)～31(月)  
鹿嶋・鉾田⇒10/29(土)～31(月)

#### ▼チラシの送付と枚数 (10月25日・現)

- ① 結城 (5,000枚) ② 美和・緒川 (2,300枚)
- ③ 鹿行 (潮来・神栖 1,500枚) 鹿行 (鹿嶋・鉾田 500枚)
- ④ 石岡 (500枚) 石岡 (小美玉 2,500枚)
- ⑤ ひたちなか (2,000枚) ⑥ 内原 (3,000枚)
- ⑦ 友部 (3,000枚) ⑧ 取手 (3,000枚)
- ⑨ 下館 (1,000枚) ⑩ 牛久 (2,000枚)
- ⑪ 阿見 (1,500枚) ⑫ 太田 (2,000枚) ⑬ 竜ヶ崎 (1,000枚)
- ⑭ 北茨城 (3,000枚) ⑮ 笠間 (300枚) ⑯ 守谷 (1,500枚)
- ⑰ 事務局 (12,900枚)

## 第27回茨城県解放戦士合葬祭

### 快晴の秋空の下、 21名の方を合葬



10月16日(日)、笠間市太田町の割烹千成にて第27回茨城県解放戦士合葬祭が行われました。

式典の後、北山霊園内の解放戦士の墓前で碑前祭を行われ、わが国の進歩と革新、平和と民主主義を守るたたかいの途上で亡くなられた倒れた21名の方の合葬が行われました。84名の方の参列がありました。

午後1時からの昼食・懇親のつどいは、献杯のあと故人の在りし日の活動へのとりくみや、家庭での様子などを偲んで遺族、友人、知人のそれぞれに心のこもった挨拶があり参加者の感動をさそいました。



### 歓迎! 新入会員のみなさんです。 よろしくお願いします。

.....  
○ \*\* \*\* さん (守谷市)

\*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう!

### 戦争法廃止! 海外派兵・参戦は許さない 平和を願う市民の力を結集させましょう。

## 11・20県南集会 南スーダンに自衛隊を送るな!

11月20日(日) 13時30分～

土浦市亀城公園広場

市民連合共同代表・各界の代表が訴えます。

※集会後パレードを行います。

主 催：県南総がかり実行委員会

連絡先：坂本繁雄 戦争をさせない1000人委員会 県南協議会 090-3094-7326

福田勝夫 憲法を守りいかに土浦共同センター 090-3537-2632



安保法制(戦争法)が3月施行されました。戦後71年目にして、海外で殺し殺される事態を絶対に食い止めなければなりません。

### 平和新聞

2016年10月25日・11月5日(合併号)

2123号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

### 平和かわら版 平和新聞茨城版 No.761 合併号

2016.10/25・11/5  
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 水戸駅南口で「戦争法廃止」を訴える！

10月19日（水）の茨城県民共同アクション！

県平和委員会が事務局長を担っている、「戦争法」の廃止を求める茨城県民連絡会は、憲法違反の「戦争法」を廃止しようと、毎月19日に「戦争法廃止」の宣伝行動を行っています。

この日は午後5時30分から、水戸市民合唱団の方々を中心にみんなで平和の歌で開始しました。午後6時からリレートークを開始。県民連絡会の田中重博代表が主催者挨拶を行い、戦争法廃止と沖縄新基地建設阻止を訴えました。

リレートークでは、茨城労連、民主青年同盟、原水協、民医

連、ソーダ@いばらき、さよなら原発いばらきネットワーク、日本共産党茨城県委員会などの代表が交代でマイクを握り、「南スーダンへの自衛隊派遣を送るな」「東海第二原発再稼働を許さない」「労働法制の改悪反対」「市民連合と野党共同で安倍政権を倒そう」などを訴えました。

集会の中で、県平和委員会が作成したB4版カラーチラシ300枚を配布しました。またカンパが4554円寄せられました。

またこの日はつくば市、日立市、取手市などでも全国と連帯した「戦争法廃止」の宣伝行動が行なわれました。

## 農民連の協力を得て 今年も！

## 沖縄の仲間たち！

## 茨城の新米で元気に！

平和委員会では、昨年9月、「沖縄連帯ツアー」を実施しました。その時、「茨城の新米を、沖縄の仲間へ食べてもらおう！！」として、会員と農民連の皆さんの協力を得て、「沖縄平和委員会」「高江のヘリパッドに反対する地元の人たち」「名護市平和委員会」に600kgの新米を送ることができました。

今年度は、茨城農民連と連帯して同じ取り組みを進めています。名護市平和委員会からお礼の手紙が届きました。紹介します。詳しくは後日報告します。

この度は、たくさんの白米ありがとうございました。新米はやはりおいしいですね。みんなで分けて頂きました。

沖縄の問題を日本の問題としてとらえ、連帯の輪が広がっていることを実感します。安倍政権を倒して、人間らしい生き方のできる日本にしましょう。

905-0011 名護市宮里7-18-28

名護市平和委員会 上野郁子 さん

(10月11日 12-18 付)

## 茨城県平和委員会

## 第3回・常任理事会開催のお知らせ

★とき 2016年11月13日（土）  
13：00～16：30

◎今年も残すところ早  
や2ヶ月！秋から年末に  
かけてひと踏ん張り！



★ところ 県平和委員会事務局

★内容 年末の取り組みの交流と確認

「仲間づくりと組織活動の交流」

「県内一斉平和宣伝」「平和意見広告」「ワイン普及」



森住卓（もりずみ・たかし）

渾身のフォトドキュメント

「沖縄戦最後の証言」

おじい・おばあが米軍基地建設

に抵抗する理由

## 4回目の「百里を語る会」

10月13日（木）に百里公民館で、4回目の「百里を語る会」が行われ、10人が参加しました。この日は模擬空対地射爆撃訓練の最中で、戦闘機が激しく飛び交う中での実施となりましたが、くつろいだ雰囲気でも各自の思いを出し合っただけの学習会となりました。今回のテーマは、①山西町長を誕生させた力はどこから出てきたのだろうか、②そして、なぜ山西町長は敗れたのか、の2つでした。この激動の4年間について、伊達さんからのレクチャーをもとに当時の事を思いながら、語り合いました。

基地誘致は1955年1月に当選した幡谷仙三郎町長が中心になって奔走したことから本格化しました。国会議員と県知事とつながり、町議会をボス的に支配して誘致工作を行い、基地誘致が表面化したときにはすでにかなりの土地の買収が進んでいました。それは当時の百里入植者の生活苦につけこみ、開拓組合長を抱き込んでのものでした。1956年7月に正式に防衛庁が小川町に基地建設を申し入れましたが、8月には「百里基地反対期成同盟」が結成され反対運動が本格化しました。1957年4月には幡谷町長の町政私物化とボス支配への反発が基地反対の声と重なって、反対派の山西きよ町長が誕生しました。しかし、基地建設が強行される中、山西町長は1年後の1959年2月にリコールされて町長選にも敗れ、反対運動は萎んでいきました。この激動の4年間からくみ取るべき教訓を語り合っただけの学習会は時間となりました。

今回は、憲法裁判として名高い「百里裁判」について取り上げます。  
（百里平和委員・栗又衛）

「戦わないために、今、闘っている」

この思いをどう受けとるか、一人ひとりが問われている！

沖縄戦を体験した人たちの証言を、戦後71年を経過し最後になるかもしれない彼らの証言を、今、聞いてほしい。

（新日本出版社：定価2000円）

＊茨城県平和委員会に在庫あります。